

令和4年11月29日  
観光商工課

## 観光統計の整備検討について

### 1 現状

- ①目的別観光客数 各施設に報告を依頼、メール・FAX回答
- ②観光消費額調査 年2回、越後湯沢駅でインタビュー
- ③宿泊者数調査 上半期と下半期ごとに全宿泊施設に調査、郵送回答

### 2 第1回会議の振り返り

- ・施設に求めるのではなく、お客様からアンケートをWEBで回答してもらってはどうか。
- ・インタビューではなく回答方式だと正確性があるか疑問。
- ・アンケートは紙とWEBの併用がいい。
- ・YUZA割を使うには絶対アンケートに回答してもらうようにすれば答えるのでは。
- ・消費額と宿泊客数を毎月出していくのはマストだ。
- ・機構会員になるとデータが取得できるというのが、入会のメリットになる。
- ・統計データでお金を稼ぐことも出口戦略のひとつ。
- ・ある自治体はフリーWi-Fiの接続条件にしている。最後に任意でメールアドレスを聞く。
- ・施策立案のための趣旨からマーケティングの顧客データリストになるのも出口戦略のひとつ。

### 3 第2回会議の振り返り

#### 【宿泊者数調査】

- ・回答者に性別年齢別目的別を報告してもらうことは難しいだろう。
- ・全数調査を続けて、回収率を上げる努力をする必要がある。旅館組合に協力してもらい、何とか8割まで上げられれば。それを毎月。
- ・宿泊施設は、実人数を出すのが大変。
- ・調査の種類は、国、県、町とあるので、お客様にお願いしいづらい。

#### 【消費額調査】

- ・フジロックやスパルタンレースなど、いろいろな場所やイベントなどでやってみてはどうか。
- ・QRコードだけではなかなか回答してくれない。やはり施設がお願いしな

- いといけない。
- ・高齢者もいるので、QRコードからだけでなく紙による調査も必要。
  - ・国の推奨フォーマットを活用しつつ、自分たちがどうしても聞きたいことをカスタマイズする方法がいいと思う。

#### 4 目指すもの

- ◎「湯沢町観光振興計画 2022-2031」 P. 76
  - ①観光消費額
  - ②紹介意向
- ◎数字の正確性、信頼性の向上

#### 5 見直し案

##### ①目的別観光客数

- ・各施設に報告を依頼、メール・FAX・WEB回答

##### ②観光消費額調査

- ・一年中実施し、毎月集計する。
- ・各施設及びイベント時にQRコード記載のカードを来訪者に配布又は掲示してもらう。
- ・インセンティブを設ける。「毎月、抽選で●名に●をプレゼント」。
- ・インタビュー調査も従来通り行う（WEB回答方式併用）。回答者に粗品を渡す（現状はウェットティッシュ）。

場所	時期	方式	集計	インセンティブ
各施設 イベント	随時	QRコード	毎月	毎月、抽選で●名に●をプレゼント。
越後湯沢駅	年2回	①インタビュー ②QRコード	年2回	①回答後、渡す。 ②毎月、抽選で●名に●をプレゼント。

##### ③宿泊者数調査

- ・年2回の全体調査を継続する。
- ・回答率向上のため、湯沢町観光まちづくり機構から協力してもらう。